郷愁あふれる宿場町の歴史にふれる

鳩ヶ谷コース

新たなB級グルメ・鳩ヶ谷ソース焼きうどん

鳩ヶ谷発のB級グルメ「鳩ヶ谷ソース焼きうどん」は、平成20年(2008年)に誕生しました。鳩ヶ谷エリアの「まちおこし」のアイデアとしてソース焼きうどんが選ばれたのは、埼玉県のうどん生産量が全国2位であり、鳩ヶ谷に大手ソースメーカーの工場があるからでした。

本格的な開発がスタートすると、イベントや試食会で地元の人びとに親しまれる味付けが探求され、同年10月に試作ソースによる発表会が催されました。その後も、飲食店でのメニュー提供やイベント等での反響を踏まえて「おいしい味」への追求が繰り返され、平成21年(2009年)7月に一般提供が開始されました。

現在「鳩ヶ谷ソース焼きうどん」は、鳩ヶ谷本町や坂下町を中心に20軒ほどの飲食店で提供されており、お店ごとに調理方法や隠し味が異なる多彩なソース焼きうどんの食べ比べが楽しめます。また鳩ヶ谷エリア限定で専用ソースも販売されており、自宅でも新たなご当地グルメにチャレンジできます。

味の決め手は「もっちりうどんと濃厚ソース」

川口市経済部産業振興課

〒332−8601　川口市青木2-1-1
電話:048(259)9018
FAX:048(259)2622

レトロな雰囲気漂う、旧宿場町と川辺を縦断

平成23年(2011年)10月、川口市に仲間入りした鳩ヶ谷地区は、古くから日光御成道の宿場町として賑わってきました。鳩ヶ谷コースでは、日光御成道を南下しながら地蔵院や鳩ヶ谷氷川神社といった歴史ある神社・寺院に足を運ぶルートと、鳩ヶ谷を斜めに横切る芝川沿いを散策するルート、の2つを紹介しています。歴史と文化に注目されがちな地域ですが、最新のごみ処理施設と啓発施設・温浴施設で構成されたリサイクルプラザや、全国一の規模を誇る有名どころ・川口オートレースも見逃せません。

B-2 真光寺（しんこうじ）

曹洞宗の寺院で「新編武蔵風土記稿」によると、法性寺五世の僧・苗運によって開山されたとあります。本尊は釈迦如来像であり、現在の本堂は、鳩ヶ谷宿の中心部に構えていた本陣を昭和初期に移築したものです。境内裏の道沿いには本陣と彫られた石柱もあります。

A-3 地蔵院（じぞういん）

真言宗智山派の寺院。中興開山は尊蓮とされ、県指定文化財の木造不動明王立像をはじめ、十一面観音菩薩などがあります。地元の偉人である江戸後期の社会教育家・小谷三志の墓があり、また裏庭にある樹齢約500年の巨大なタブノキは、市の天然記念物に指定されています。

B-1 芝川サイクリングロード（しばかわ）

東京都足立区の都市農業公園(芝川水門)から新芝川の堤防に沿って北上し、さいたま市の大宮第二公園を結ぶ延長約22kmの自転車・歩行者道。道幅は自転車同士でのすれ違いが可能な広さがあります。自転車に気をつけながら川面を眺めつつ、のんびりとお散歩しましょう。

B-3 鳩ヶ谷氷川神社（ひかわ）

ヤマタノオロチを退治した須佐之男命(スサノオノミコト)を祀っている鳩ヶ谷の鎮守です。縁結び、厄除け、夫婦円満の神様として親しまれており、創立は応永元年(1394年)と伝えられています。境内には地下から御神水が湧き出ており、自由に汲むことができます。

C-1 川口オートレース

全国に6ヵ所あるオートレース場の中で、入場者数、売上ともに1位を誇る人気スポット。場内には競走路及び観客席を設置しているほか、公園などを整備しています。また、小学校・幼稚園等の団体を対象とする交通安全指導施設「児童交通公園」も設けられています。入場料100円

B-3 からくり時計

御成坂公園には、大名行列が描かれた3枚のタイル絵と、からくり時計があります。作動時間になるとメロディが流れて、大名行列をイメージした人形たちによる演出が楽しめます。作動時間：10時・正午・15時・17時・19時(月曜～土曜)、10時～20時の毎正時(日曜)

D-2 十二所神社（じゅうにしょ）

十二所神社の由来は、天神七代、地神五代の合わせて十二柱の神々を祀っていたこととされています。昔は境内に隣接する形で宝林寺があり、また明治時代の法令により八幡木の八幡神社と合祀された時代もありましたが、旧前田村の守護神として今も変わらず親しまれています。

D-3 リサイクルプラザ

びん・かん・ペットボトル処理ラインの見学通路、ごみ削減の啓発展示などのほか、ごみ焼却の余熱を利用した有料のプール・入浴施設「サンアール朝日」があります。10:00～20:30、月曜(祝日の場合は翌日)・年末年始休、入館料一般500円・小学生250円・幼児150円・3才未満無料

江戸の足跡 ～日光御成道（おなりみち）と鳩ヶ谷宿～

あいうえおのまち！川口!!

日光社参の街道へ

日光御成道は、徳川将軍家が日光社参するために整備された街道です。本郷追分から岩淵、川口、鳩ヶ谷、大門、岩槻を通り、幸手追分で日光街道に合流するまでの12里30町(約48km)を指しています。

日光社参とは、初代将軍・徳川家康の命日(旧暦4月17日)に日光東照宮で行われる大祭に参詣することです。日光社参は2代将軍・秀忠が元和3年(1617年)に初めて行い、天保14年(1843年)に12代将軍・家慶で終わるまでの間、17回にわたって行われました。とくに3代将軍・家光は9回も日光社参を行ったと記されています。

日光社参のルートは日光御成道だけではありませんが、寛永17年(1640年)には日光御成道が「日光社参にふさわしい縁起のよい道」として整備されたとあります。なお「縁起のよい道」の謂れは、慶長5年(1600年)7月、家康が会津の上杉景勝討伐に赴いた際に鳩ヶ谷に泊まり、その先の小山で石田三成の挙兵を知り、後の関ヶ原での勝利から徳川幕府樹立へと繋がった、というものです。

今も残る宿場町の面影

日光御成道において江戸から3番目の宿場である鳩ヶ谷宿は、北から3つの町(上・中・下)に分かれ、その町並みは4町20間(約470メートル)にわたりました。鳩ヶ谷宿には中町の本陣を中心に多くの商家が軒を連ねており、商業・文化の中心地として栄えました。寛政11年(1799年)の記録では186軒・741人が暮らし、30軒の商家、19軒の穀物商、11軒の蕎麦屋があったとあります。また江戸時代中頃より毎月3と8のつく日に行われた「三八市(さんぱちいち)」では出店が立ち並び、多くの人で賑わいました。

B-3 商売の神様・市神社

「三八市」の祭神・市神(いちがみ)を祀る市神社は、今も鳩ヶ谷の町に佇んでいます。また、寛政12年(1800年)より作成された「日光御成道分間延絵図(ぶんげんのえず)」には市神社をはじめ、地蔵院や氷川神社、法性寺、常住寺などが描かれており、これらの寺社からも当時が偲ばれます。

郷愁あふれる宿場町の歴史にふれる
No.11 鳩ヶ谷コース

日光御成ルート

東側のルートは、日光御成道として栄えた宿場町の足跡をたどります

SR新井宿駅（スタート）	地蔵院	10分	0.8 km	からくり時計	22分	1.7 km	
	観光案内橋	16分	1.3 km	三ツ和公園	20分	1.6 km	
	有明橋	16分	1.3 km	地蔵院	10分	0.8 km	
	三ツ和公園	9分	0.7 km	観光案内橋	16分	1.3 km	
	からくり時計	7分	0.6 km	有明橋	9分	0.7 km	
	地蔵院			三ツ和公園			
	新井宿駅			SR南鳩ヶ谷駅（ゴール）			

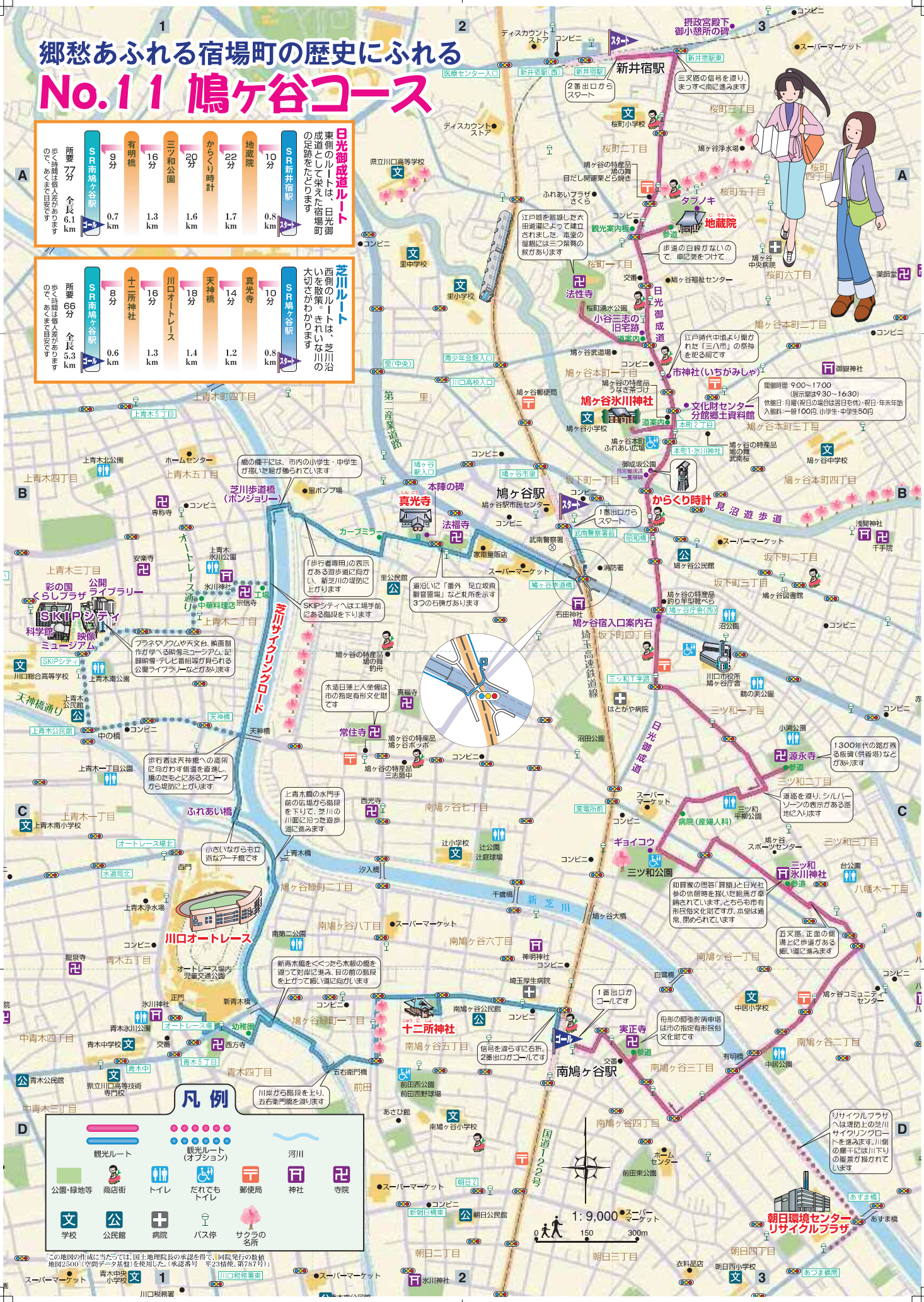
全長6.1 km　所要77分

歩く時間は個人差がありますので、あくまで目安です

芝川ルート

西側のルートは、芝川沿いを散策。きれいな川の大切さがわかります

SR鳩ヶ谷駅（スタート）	真光寺	10分	0.8 km	天神橋	14分	1.2 km	
	天神橋	18分	1.4 km	川口オートレース	16分	1.3 km	
	川口オートレース	16分	1.3 km	十二所神社	8分	0.6 km	
	十二所神社	8分	0.6 km	SR南鳩ヶ谷駅（ゴール）			
	SR南鳩ヶ谷駅						

全長5.3 km　所要66分

歩く時間は個人差がありますので、あくまで目安です